

うめナビ

2021.7
Vol.108

大田区・品川区等エリア※1

地域を愛するスパイスカレー店 お客様の心と身体に笑顔を

ひるめしや
昼飯屋



大田区大森西5-10-10 大森駅前

昼飯屋(大田区大森西、代表社員・高瀬明子 店主・高瀬晋一、070・3270・2024、<https://www.hirumeshiya.com>)は2020年2月に開業、高瀬夫婦の経営するスパイスカレー店だ。店主はもともと和食職人であり、前職でスパイスカレーの人気店を作り上げた知識と経験を活かして大森町駅前に出店した。おすすめは「海苔チキンカレー」。大森地区が海苔の名産地であることから、海苔とカレーを掛け合わせて創られた。「地産地消を目指し地域の産業に貢献したい」という考えから食材は大森の海苔問屋と地元のお店街から仕入れている。

高瀬夫婦は、「子どもの体質改善のため、食生活を見直し、化学調味料・小麦粉・砂糖を使用しないカレーを提供したい」という想いからこのスパイスカ



「海苔チキンカレー」1,100円(税込)



Instagramはこちらから

Uber Eats・デリバリー
(Uber Eats) 対応

レーを考案した。「美味しく食べて、健康に」をテーマにお客様に提供する商品も「子どもたちにも安心安全に食べさせられるもの」というこだわりがある。スパイスカレーと聞くと辛いイメージだが、ほどよいピリツと感と旨みを感じられる。カレーは無料でおかわりでき、トッピングにより味の変化を楽しむ事もできる。

オープン直後に新型コロナウイルスの感染が拡大し、不安定な状況の中で営業だったが、地域のお客様に対して感謝の言葉を語っている。愛情あふれる毎日食べたくなるスパイスカレーをぜひ堪能ください。

北欧風の木のぬくもりや自然を感じられる空間と 手作りのカップや皿でくつろぎの時間を

くつろぎCafé
やまぼうし



くつろぎCafé やまぼうし(品川区二葉、川島忠興店長、03・6320・0009、kutsurogicafeyamaboushi@gmail.com)は、2016年11月にオープンした喫茶店。

二葉三丁目の商店街から少し離れた所であり、緑に囲まれた落ち着いた空間と、趣味の陶芸を活かした手作りのカップでコーヒーや紅茶を味わっていただけ、くつろぎの時間を提供している。木のぬくもりを感じるバリアフリーの引き戸を開けると、北欧風のテーブルや椅子が迎えてくれる。3種類のケーキ(チーズケーキ、シフォンケーキ、パンケーキ)を用意し、特に5cmの厚



また、当店は「住原七福めぐり」のコース上に位置しており、近所の蛇窪神社などのお参りの際の休憩場所として極上の癒しの空間を演出している。

お近くへお越しの際は、是非お立ち寄りください。



地図はこちらから

うめナビ
送付先業種
※2

商社
5先

スーパー・小売・百貨店
24先

メーカー
15先

マスコミ・出版
29先

教育(大学・専門学校)
33先

官公庁
34先

ホテル
7先

金融
48先

建設・不動産
13先

システム関連
10先

その他
38先

合計
256先

※1 一部、エリア外の企業も掲載しております。

※2 本誌は、城南信用金庫のお取引先に配布する他、商社、百貨店、スーパー、メーカー、マスコミ、大学等にもお届けしています。

一人ひとりの不安に寄り添い 人と人の心が繋がる不動産取引を

CONNECT HEART



ハウスドゥ！大森海岸店(大田区大森北、鈴木美季代表取締役、03・6404・3180)は、大田区大森エリアを中心に不動産売買仲介業を営んでいる。ハウスドゥは元プロ野球選手の古田敦也氏をイメージキャラクターとして、テレビCMやラジオなど全国的に広告展開をしている。業界No.1を誇る全国694店舗(2021年4月末現在、オープン準備中を含む)のフランチャイズ展開をしており、今もなお急成長している不動産会社である。



その中でハウスドゥ！大森海岸店は、不動産の「売りたい」「買いたい」と言ったご要望に応じており、特に不動産売却に力を入れている。一般のお客様で不動産売却を何度も経験している方は少ない。だからこそ《不安》は人それぞれだ。一人ひとり《不安》が違うからこそ、不動産売却において最も重要なのは【信頼関係】である。この会社にならなくてもいい！と思える不動産会社に出会うことが大切だ。ハウスドゥ！大森海岸店の会社名は、「CONNECT HEART」(コネクトハート)。「人と人の心が繋がる不動産取引をしたい」という想いでお客様と向き合っている。自宅を売却しても住み続けられる「ハウス・リースバック®」も大変人気の商品である。老後の資金に不安な方や住み慣れた家を引越したくない方など、50代以降の多数のお客様に利用頂いている。女性スタッフのみの店舗であり、きめ細かい対応でお客様からの支持を得ている。女性のマンション購入や高齢のお一人様の不動産売却など親身になって相談に乗ってくれる。「感染対策を徹底し、皆様のご来店をお待ちしております。WEBでの相談も可能ですので、お気軽にお問い合わせください。」

世界の確かな品質を 適正価格と共にお届け！

ファイユ・ジャパン



ファイユ・ジャパン(品川区西中延、モラン・フレデリック代表取締役、03・6426・9107、<http://faye-japan.com>)は、主にフランス産の高品質な食材を取扱う卸売業者だ。取扱品目は高級食材であるフォアグラ、キャビア、トリュフを始め、肉製品から水産物までフランス料理に欠かせない食材である。メインで取扱っているのは家禽類で、フランス・ヴァンデ産フォアグラ、フランス・シヤラン産鴨の骨付きモモ肉などが人気商品だ。他にはスコットランド産スモークサーモンも好評を博している。

主要取引先は、都内及び近郊の一流ホテルやミシュラン星付レストラン、結婚式場などで、その品質の高さが伺える。フランスには関連会社である「ファイユ・ガストロノミー」があり、世界最大の生鮮食品市場であるランジス公益市場にオフィスを構えている。全世界100ヶ

国以上の一流シェフらに食材を提供しており、食文化の発展に貢献し続けている。

現在、ホテルなどに卸売を行っている会社であるが、グルメカタログやグルメサイトへの掲載を検討しており、一般個人が商品を直接購入できる機会が訪れるかもしれない。販売用パッケージの作成や掲載媒体の確保など様々な課題と向き合わなければならぬが、実現に向け計画中だ。

同社にご興味のある企業様がいらっしゃいましたら、ぜひお気軽にお問い合わせください。

キャッシュ時代のiPhoneケースWrapUp ストレッチ素材で圧倒的収納力！

ワンファイブー the150



the150(大田区矢口、服部大介代表取締役、050・3628・1150、<https://www.the-150.com/>)は、アプリや雑貨などコンシューマ向け製品の企画・開発・デザイン・販売を行っている。同社の「WrapUp(ラップアップ)」は、キャッシュレス時代のiPhoneケースとして提供されている。

昨今のキャッシュレス化によりスマートフォンによる決済が普及し、現金を持ち歩く必要性が少なくなり、小型化した財布の需要が増え、財布の在り方に変化が起きはじめている。キャッシュレス化のライフスタイルに求められる要素は、「財布からの脱却」「スマートフォンの簡易財布化」とあると考え、スマートフォンと収納部を一体化した新たなケースとして「WrapUp」は開発された。財布という荷物を減らし、これ一つだけを持った外出が可能となる。

通常のケースの5倍以上の収納力を誇り、カード10枚、紙幣5枚、コイン20枚、鍵を簡単に収納可能。耐衝撃性のあるミルスペック準拠のダブルケースで収納物を安全に保護し、撥水加工を施したストレッチ素材に止水ファスナーを組み合わせることで、堅牢で撥水性の高いケースに仕上がっている。

新型コロナウイルスが蔓延している今日において、感染防止の観点からも非接触型の決済システムが普及し、キャッシュレス機能を有するスマホの財布としての役割が高まっている。今後人々の生活に対して新たな価値を想像し、妥協無く独自の解釈と新たな可能性を提案することで、世の中に少しのきっかけと驚きを提供するためにthe150は活動していく。